

高浜3号機に不具合

伝熱管2本に減肉・ひび

関西電力は17日、定期検査中の高浜原発3号機（高浜町）で、蒸気発生器の伝熱管2本に減肉やひびが見つかったと発表した。12月6日に発電を再開する予定だったが、調査のため遅れる見通し。冬の電力需給への影響は「精査する」としている。

伝熱管の外側からの減肉と、内側からのひびが1カ所ずつみつかった。減肉

は、「スケール」と言われる伝熱管に付着した鉄の微

粒子による摩耗、ひびは応力腐食割れが原因とみられる。環境への放射能の影響はないという。関電は今後、調査を進め、原子力規制委員会に調査結果を報告することになっている。

（小田健司）